

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		在宅サービスセンター運営事業費 [在宅サービスセンター運営事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	11			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護 課 介護保険 係					課長名	伊野宮 崇				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進							総合計画書 (ページ)	51			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 要支援1、要支援2、要介護1～5の方が利用する在宅サービスセンター。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 施設						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 住み慣れた地域の中で高齢者がいきいきとした生活が送れるよう介護や機能訓練、健康管理、趣味、生きがい活動、送迎等を行う在宅サービスセンターの稼働率をあげて、施設の収入を増やしたい。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 稼働率						
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。 基本協定書・年度協定書の作成や指定管理委託料、自動体外除細動器賃借料、空調機器賃借料の支払事務を行った。また、毎月、提出される事業状況報告書等により施設の状況把握に努めた。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 事業状況報告の確認は12回。						
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	施設	2	2	2					
	成果指標	②の数値	%	86	81	72					
	目 標	②の目標値	%			85	85	85			
		目標値設定の考え方 過去の実績を基に設定した。									
活動指標	③の数値	回	12	12	12						
3 経費	事業費（実績）		円	29,024,936	8,695,414	18,607,848	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	29,024,936	8,695,414	18,607,848					
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	1,676,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費＋人件費		円	30,673,736	10,357,414	20,283,848						
4 環境変化等	(1) 開始年度		18 年度								
	(2) 環境の変化		新型コロナウイルス感染症の発生による、通所介護サービスの利用控えが生じた。 民間の事業所が増加している。								

事業名称	在宅サービスセンター運営事業費 [在宅サービスセンター運営事業]			
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護保険	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 高齢者の増加に伴い、介護保険利用者も増えている。そのため、地域における通所介護事業所に対するニーズは高い。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 利用者を対象とした事業に限らず、地域に根差した施設としての地域貢献事業の提案を求めたい。			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 利用者の要望が多いサービスを拡充したり、老朽化した設備等を更新する等、快適な施設環境を整備する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 「在宅サービスセンターきよはら」の事務室において雨漏りが発生していたことから、屋上防水工事を実施した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 利用者の要望が多いサービスを拡充したり、老朽化した設備等を更新する等、快適な施設環境を維持・整備する。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 指定管理者と密な情報交換を行い、課題の把握、解決策を検討する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	定期的な情報交換の機会の設定。			